

情報サービスの変容と今後の図書館運営

長谷川豊祐 鶴見大学図書館

図書館における情報サービスは、1)情報、2)場所、3)利用者、4)図書館業務、5)図書館員の5つの要素で構成されていると考える。この5つの要素は、社会情勢やICTの変化に対応して、その役割と機能も変化していくことを求められる。何よりも、図書館を設置している大学の経営環境や高等教育サービスの方向性が変われば、図書館への影響は直接的で、大きなものになる。

設置母体の変化や要求によって、その役割や機能の再構築を迫られている図書館の情報提供サービスの5つの要素の実態はどうなっているのだろうか。情報サービスを構成する要素の実態を以下の観点から概観することによって、新しい情報サービスや、図書館員の自己変革とは何かについて、今後の図書館運営の観点から問題を提起したい。

1)情報の変容：提供から発信へ、Web 2.0 へ、ネットワーク情報資源の効果的活用

- ・ 湯川梅彦. ソーシャル・ウェブ入門. 技術評論社, 2007, 239p.
- ・ 岡本真. これからホームページをつくる研究者のために:ウェブから学術情報を発信する実践ガイド. 築地書館, 2006, 274p.
- ・ 手羽イチロウ監修. ムサビ日記, 武蔵野美術大学出版局, 2007, 262p.

2)場所の変容：ラーニングコモンズへの期待

- ・ ラーニング・コモンズ～学びの場の新しいカタチ～. 大図研シリーズ. 2009, no.25.
- ・ 特集:「ラーニング・コモンズ」. 名古屋大学附属図書館研究年報. 2009, no.7, 67p.
http://libst.nul.nagoya-u.ac.jp/report/f_report.html

3)利用者の変容：フィールドワークの必要性、利用者は何を求めているか

- ・ 慶應義塾大学メディアセンター利用者調査ワーキンググループ. 図書館サービス評価 LibQUAL+(ライブカル)の実施結果について. 2009.3.31.
<http://project.lib.keio.ac.jp/libqual/report.html>
- ・ ウェブのユーザビリティ調査事例ーピッツバーグ大学. 情報の科学と技術. 2008, 58(6), p.285-289. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110006684489/>

4)図書館業務の変容：ICT技術(電算化やインターネット)への対応、今後の業務効率化

- ・ 長谷川豊祐. フォーカス・グループ・インタビューによる大学図書館業務電算化の構造解明. 2006年度三田図書館・情報学会研究大会.
http://wwwsoc.nii.ac.jp/mslis/am2006yoko/05_hasegawa.pdf

5)図書館員の変容：減点法から加点法へ

図書館における最優先のサービスは何か、実施を妨げているのは何か。
職務記述書によって組織としての質は維持できるか。

- ・ 上田直人. ミッションステートメントと図書館の使命. 専門図書館, 2009, no.235, p.1-10.
-- E-mail : toyohiro@mub.biglobe.ne.jp
-- 「図書館員のためのインターネット」 <http://www2d.biglobe.ne.jp/~st886ngw/>
-- 「エビデンスのない図書館・情報学ブログ」 <http://toyohiro.at.webry.info/>